

2009年1月27日
株式会社リクルート
HCソリューショングループ

『就職白書 2008』

～ 2010年卒の採用活動は、厳選採用の兆しあり ～

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区 代表取締役社長兼CEO 柏木 齊)の、企業向け戦略人事コンサルティング部門 HCソリューショングループではこのたび、企業の新卒採用の状況、および学生の就職活動の状況を明らかにするため、企業の人事・採用担当者、および2009年3月卒業予定の学生を対象に、調査を実施いたしました。

このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

※なお、本調査は2008年7月に実施したもので、秋以降の経済状況の変化は反映しておりません。

【2009年卒採用活動の実績】

**企業の採用活動は早期化、採用予定人数は過半数が「2008年卒並み」。
積極採用姿勢は変わっていない。**

- 前年度(2008年卒)と比較し、採用活動の時期が「早まった」とする企業は53.5%。
- 採用予定人数を「増やした」企業は28.2%、「2008年卒並み」は57.4%。

結果として、採用難／売り手市場の傾向がみられた。

- 6割超の企業が、調査時点(2008年7月)で当初の採用予定人数を確保できず。
- 学生は内定・内々定を「複数取れる」状況。取得社数の平均は2.1社となった。 (詳細 p.4)

【2010年卒採用活動の見通し】

採用予定人数は減少が増加を上回り、厳選採用の兆しがみられる。

- 採用予定人数を「減らす」企業は11.2%と、「増やす」の7.7%を上回る。
また予定人数に満たなくても「基準は緩めない」企業は、70.6%となった。 (詳細 p.5)

【2009年卒採用活動トピックス】

インターンシップを実施した企業は4割以上であった。

- 学生は約25%が「参加した」と回答。

就職活動のために優先順位を下げたことの1位は、「アルバイト」。

- 「学業」の優先順位を下げなかった割合は57.0%、下げた割合は27.1%。 (詳細 p.6)

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

■ 目次

■調査概要	-----p.3
-------	----------

■ I： 2009年卒採用活動の実績	-----p.4
--------------------	----------

- 採用活動の時期
 - 採用予定人数の増減
 - 採用予定人数の達成度
 - 学生の内定状況
-

■ II： 2010年卒採用活動の見通し	-----p.5
----------------------	----------

- 採用活動の時期
 - 採用予定人数の増減
 - 採用基準の見直し
-

■ III： 2009年卒採用活動トピックス	-----p.6
------------------------	----------

- 企業のインターンシップへの取り組み
- 学生の就職活動状況

■ 調査概要

目的

企業の新卒採用活動、および学生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する

実施方法

企業向け： 「新卒採用活動に関するアンケート」

学生向け： 「就職活動に関するアンケート」

それぞれを実施し、得られた結果をまとめた。

企業向け詳細

- 時期： 2008年7月10日～25日
- 方法： 企業の採用・人事担当者宛てにメールで調査を依頼、WEB上のアンケートフォームにて回収
 - 調査協力：株式会社マクロミル
- 対象： 15,346名
 - リクルートのもつ顧客データベースより、業種や従業員規模を特定せず抽出
- 回収数： 401サンプル(回収率:2.6%)

学生向け詳細

- 時期： 2008年7月14日～21日
- 方法： 就職活動中、または活動を終えた大学生・大学院生にメールで調査を依頼、WEB上のアンケートフォームにて回収
 - 調査協力：株式会社マクロミル
- 対象： 571,127名
 - リクルートの提供する就職情報サイト「リクナビ」の登録者、および退会者より、地域を特定せず対象を抽出
- 回収数： 7,215サンプル(回収率:1.3%)

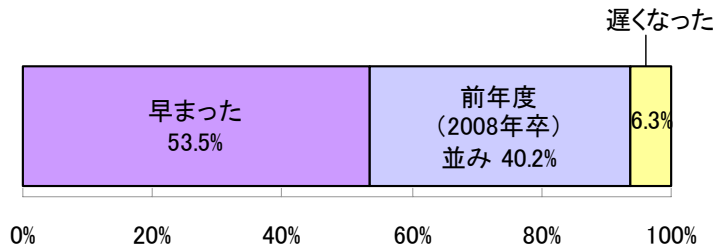
■ I : 2009年卒採用活動の実績(2008年7月時点)

採用活動は早期化、採用予定人数は過半数が2008年卒並み。積極採用姿勢は変わらない。

2009年卒
採用の実績
《活動状況》

09卒採用活動の時期
(前年との比較)

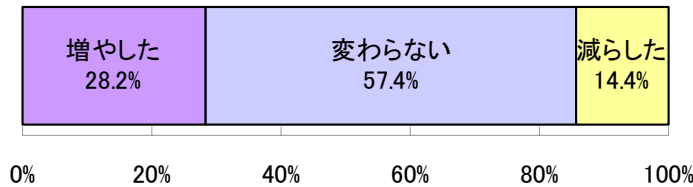
- 前年度(2008年卒)より、今年度(2009年卒)の採用活動の時期が「早まった」企業は53.5%。



N=383
前年に採用活動を行った企業のみ

09卒採用予定人数
(前年との比較)

- 採用人数をみると、予定人数を「増やした」企業は28.2%、前年度(2008年卒)から「変わらない」は57.4%。積極採用姿勢は変わらない。

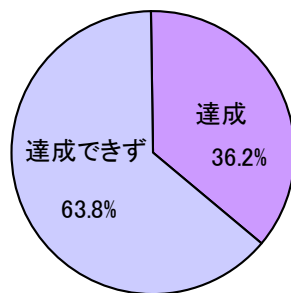


N=383
前年に採用活動を行った企業のみ

2009年卒
採用の実績
《結果》

採用予定人数の達成度

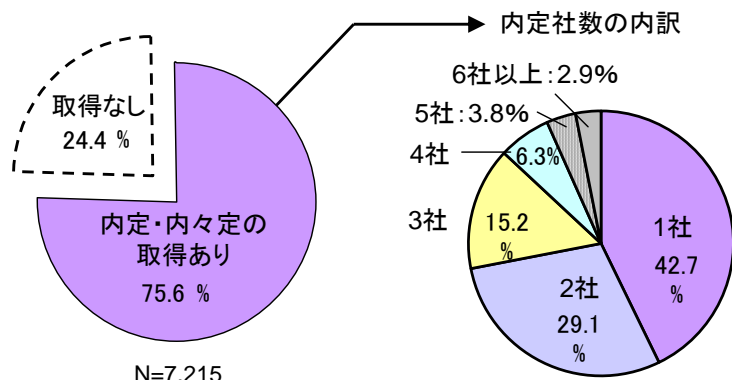
- 当初の計画人数の達成度をみると、計画人数を満たした企業は36.2%に留まる。選考解禁後3ヶ月経った調査時点(2008年7月)でも、6割超の企業が計画人数を確保できていない状況。



N=397
「調査時点での内定人数」が、採用予定人数を上回っている場合を「達成」とし、下回っている場合を「達成できず」とおいた

内定・内々定取得状況

- 学生の内定・内々定取得状況をみると、調査時点(2008年7月)での取得社数は平均で2.1社。



N=5,452
内定した企業が「ある」学生のみ

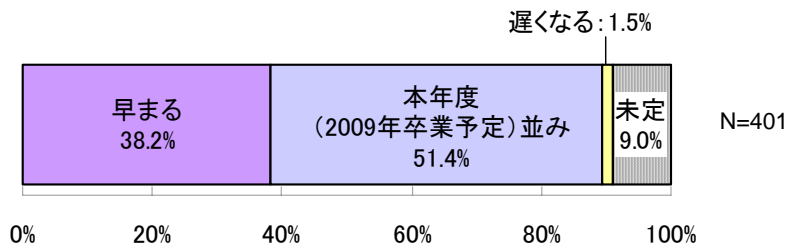
■ II： 2010年卒採用活動の見通し(2008年7月時点)

採用予定人数は「減少」が「増加」を上回り、厳選採用の兆しがみられる。

2010年卒採用の見通し
《活動予定》

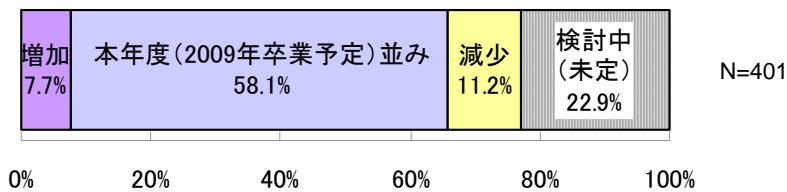
10卒採用活動の時期
(前年との比較)

- 調査時点(2008年7月)で、今年度と比較して採用活動の時期が「早まる」予定の企業は38.2%となった。



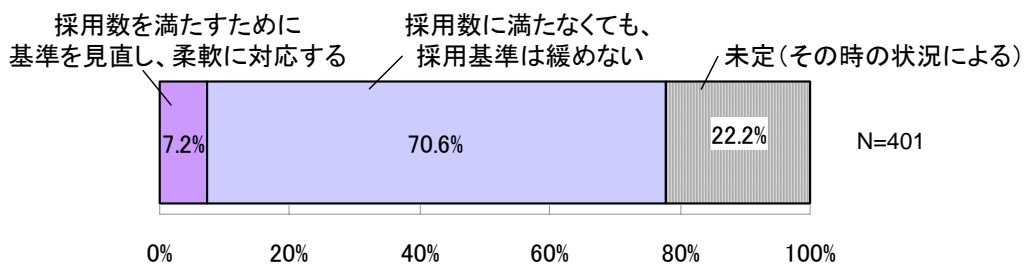
10卒採用予定人数
(前年との比較)

- 採用予定人数は「2009年卒並み」が最も多いものの、「減少」割合が「増加」を上回った。



採用予定人数に
満たなかった場合の対応

- 採用予定人数が満たなかった場合の対応については、「採用基準を緩めない」が7割を超えた。



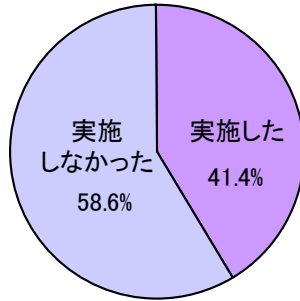
■ Ⅲ： 2009年卒採用活動におけるトピックス(2008年7月時点)
 インターンシップを実施した企業は4割以上。学生は25%近くが参加している。
 学生が、就職活動の過程で優先順位を下げざるを得なかったことの1位は、「アルバイト」。

2009年卒
採用活動
トピックス

インターンシップ実施企業の割合と
参加した学生の割合

- インターンシップを実施した企業は4割超。学生は25%近くが参加している。

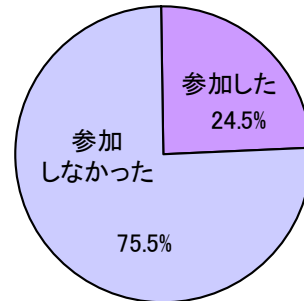
企業のインターンシップ実施割合



N=401

「採用活動の各プロセスは、当初の計画に沿って、計画通り実施できたと思いますか」という質問に対し、「そのプロセスは行っていない」を「実施しなかった」とし、それ以外を「実施した」とした

学生のインターンシップ参加割合



N=7,215

- 「就職活動の過程で、優先順位を下げざるを得なかったこと」の1位は、「アルバイト」となった。2位には「趣味・習い事」が続く。
 大学・大学院でのテスト受験・レポート提出(学業)についてみると、優先順位を下げなかった割合は57.0%、下げた割合は27.1%。

優先順位を下げざるを得なかったこと
学生が、就職活動の過程で

